

No.52	有害鳥獣駆除対策 事業名 （鳥獣被害防止緊急対策、シカ緊急捕獲拡大対策等）	28年度 予算額	202,400 千円	新規 拡大 継続
-------	--	-------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

野生動物による農作物被害は依然として農業者に深刻な影響を与えている。そのため防除対策として「特措法」による国や県の財政支援を受け獣害防護柵の設置等を推進する。また、捕獲対策として、狩猟期間中（11月15日～翌年3月15日）について、狩猟者のシカの捕獲に対し報償金を支給する事業（シカ緊急捕獲拡大事業）を推進するとともに、有害捕獲期間中（3月16日～11月14日）については、市有害鳥獣捕獲班の捕獲体制を強化し、シカの捕獲頭数の適正管理に努める。

2 平成28年度の事業内容

(1) 内 容

- ① 鳥獣被害防止緊急対策事業（ハード事業）
 - ・事業主体：豊岡市野生動物被害対策推進協議会
 - ・事業量：金網柵（10地区） L=14,520m、電気柵（7地区） L=15,080m、ワイヤーメッシュ柵（11地区） L=43,720m
- ② 有害鳥獣駆除対策事業
 - ・事業主体：豊岡市、豊岡市野生動物被害対策推進協議会
 - ・内 容：特に被害が大きいシカ対策として、捕獲報償金の増額やシカ捕獲専任班の実施により、年間の捕獲頭数6,500頭（有害捕獲5,000頭）を目標に捕獲を進める。
- ③ シカ緊急捕獲拡大事業
 - ・事業主体：豊岡市
 - ・内 容：狩猟期におけるシカの捕獲を推進するため、狩猟者へ報償金を支給する兵庫県へ負担金を支払う。

(2) 事業費（補助率・負担率等）

- ① 鳥獣被害防止緊急対策事業（ハード事業） 116,365千円
（金網柵：国50%～55%・市30%～35%、その他：国85%）
- ② 有害鳥獣駆除対策事業 73,470千円
（シカ：国8千円/頭・特交・県・市、その他：特交・市）
- ③ シカ緊急捕獲拡大事業 12,565千円
（特交80%、県13%、市7%）

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

《関連事業》

- ① 鳥獣被害防止緊急対策事業（ソフト事業） 849千円 （国50%・市50%）
 - ・生息状況調査機材やクマ用防護盾の購入等
- ② 有害鳥獣駆除対策事業 14,801千円 （特交・市）
 - ・鳥獣害対策員の配置、一般駆除や一斉駆除の業務委託、集落による捕獲柵・防護柵の設置や新規狩猟免許取得支援、60歳以上の高齢者による防護柵の設置に係る助成等

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-1-3-4

No.53	バイオマスタウンの推進 事業名 （ペレットストーブの点検・改良・移設等）	28年度 予算額	8,807千円	新規 拡大 継続
-------	---	-------------	---------	----------------

1 事業目的（趣旨）

ペレットストーブの排気管改善工事（保守点検及び灰除去の軽減）及びペレットボイラーの自動灰飛ばし装置の改修工事を行い、バイオマス施設の保全を図る。

2 平成28年度の事業内容

(1) 内 容

平成23、24、26年度に導入した206台のうち、62台の排気管改良工事、定期的な保守点検等を行う。

予算額 8,807千円（市単独事業）

- ① ペレットストーブ改修工事 62台 2,709千円
- ② ペレットボイラー改修工事 3台 5,700千円
- ③ コスト分析業務他 398千円

(2) 事業主体

豊岡市

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

ペレットストーブ導入台数 338台

ペレットボイラー（市の温泉施設等）5台

ペレットボイラー自動灰飛ばし装置改造工事の概要

現地写真

内容 ペレットボイラー写真

当初は直線で組み込まれている

施設名

神崎温泉ゆとりぎ

ゆとりぎ改修済（参考写真）

燃焼効率への影響

メ モ

・灰出しノズルにペレットが溜まる

折れ曲がる症状を改善する

内容 乙女の湯（参考写真）

各施設の課題

メ モ

- ・現在、手動による灰飛ばし（出石乙女の湯）
- ・自動灰飛ばしノズルの変形（このとり荘、出石乙女の湯）

改造工事内容

- ①自動灰飛ばし装置の設置（出石乙女の湯）
- ②既存ノズルの取換（穴の数、大きさ）
- ③コンプレッサーの入れ替え
1.5kW→2.2kW（このとり荘、湯の原温泉）

手動ノズルで空気を噴射する

内容

コンプレッサー

番号

メ モ

- ・冷却空気量を増やすため、穴を大きく多くしたノズルに入れ替え、冷却空気量を増やすため、コンプレッサーの出力の容量の大きいものに入れ替える

- ・このとり荘
ノズルを取り外した状態で使用中

- ・湯の原温泉
折れ曲がった状態のままで使用中

湯の原温泉オートキャンプ場コンプレッサー

担当課名【農林水産課】（内線2361）

施策体系番号 2-2-1-2

No.54	事業名	環境保全型農業直接支払制度 (冬期湛水、有機農業への支援等)	28年度 予算額	47,720 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	-----------------------------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

地球温暖化防止、生物多様性保全に向けた営農活動に取り組む農業者へ、直接支援金を交付し環境創造型農業の一層の推進を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

環境保全型農業直接支援対策事業【国制度】

以下の取組みに対し、交付金を交付する。（重複取組み2つまで可能）

ア 有機農業	8,000円/10a（実施目標面積：150ha	※H27実績：123.2ha）
イ 冬期湛水	8,000円/10a（実施目標面積：300ha	※H27実績：254.3ha）
ウ 中干延期	3,000円/10a（実施目標面積：300ha	※H27実績：295.3ha）
エ 堆肥施用	4,400円/10a（実施目標面積：30ha	※H27実績：26.3ha）
オ 有機雑穀	3,000円/10a（実施目標面積：40ha	※H27実績：37.1ha）

(2) 事業期間

平成27年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 事業費（補助率・負担率等）

47,720千円

ア 交付金	47,520千円（国1/2、県市1/4）
イ 事務費	200千円（国10/10）

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-1-3-1

No.55	事業名	コウノトリ育む農法の推進 (水利権拡充計画等)	28 年度 予算額	5,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------------------	--------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

コウノトリ育む農法の普及を図るうえで、早期及び冬期湛水に取り組む農家があるものの、水量不足・地形条件等の制約により、面積の普及拡大に至っていない。恒常的に安定した水利用を図るため、現況調査を行い、面積拡大に向けた諸課題の整理を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

小坂西部地区での用水の取得などに係る調査や施設整備の検討

- ① 用水の需要調査
- ② 試験通水に向けた関係者協議と、操作管理等の調整
- ③ 用水の適正配水に係る分水施設、用水路等整備の検討
- ④ 冬期湛水に資する水管理施設、用水路等整備の検討

(2) 事業期間

平成 27 年度・平成 28 年度

(3) 事業主体

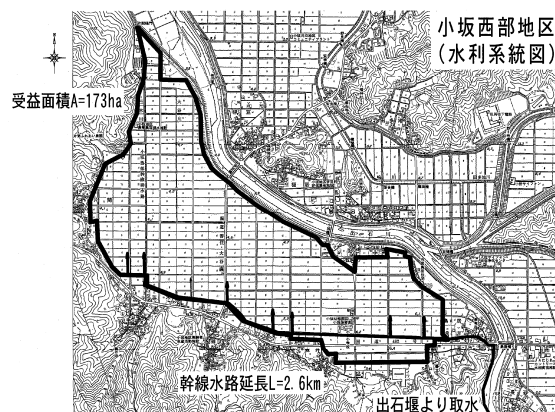
豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

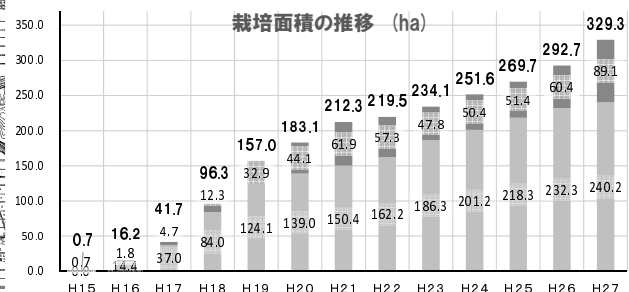
10,000 千円（国費 50% 県費 6.5%）

3 28 年度予算

予算額 5,000 千円



コウノトリ育む農法水稲作付面積の推移



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-1-3-1

No.56	農業用施設の維持管理 事業名 （基幹農道舗装修繕、基幹農道橋耐震化等）	28 年度 予算額	35,370 千円	新規 拡大 継続
-------	--	---------------------	------------------	---

1 事業目的（趣旨）

市の交通ネットワーク上重要な役割を担っている広域基幹農道の安全・安心な交通を確保するため、橋梁の耐震化と長寿命化に向けた事業計画を策定する。

また、舗装修繕を行い農道の適正な維持管理に努める。

2 平成 28 年度事業内容

(1) 内 容

① 基幹農道整備促進事業

事業費：13,870 千円(国費 1/2)

基幹農道橋：蓼川大橋、五条大橋、鉢山橋、新田橋の 4 橋

業務内容：「農道橋耐震補強に係る事業計画書」策定

② 基幹農道舗装修繕等

事業費：21,500 千円(ゼロ市債 15,000 千円含む)

事業内容：舗装修繕 清滝農免農道 日高町太田地内 (L=約 660m W=7.5m)

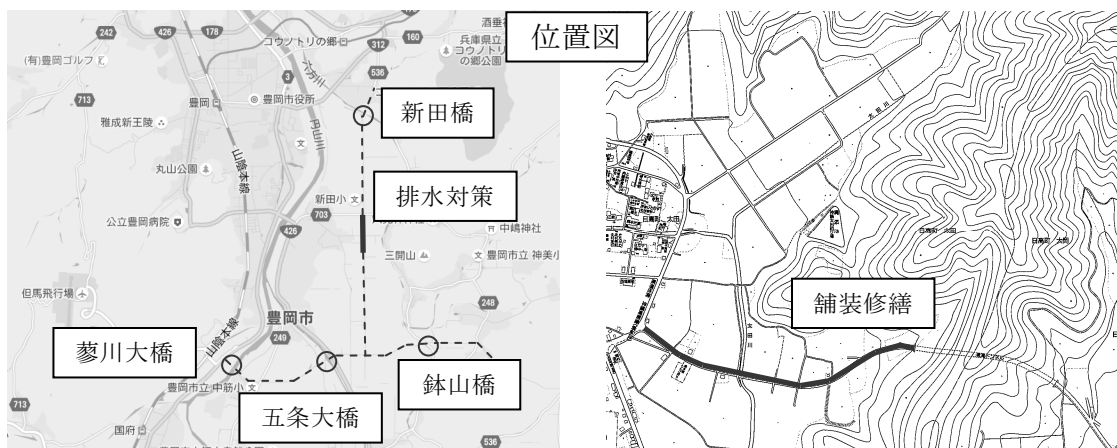
排水対策 広域農道 2 号線 木内地内他 (L=約 680m) 等

(2) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

予算額 35,370 千円



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-1-3-2

No.57 事業名 基盤整備促進事業 (田鶴野排水機場、ストックマ ネジメント事業)	28 年度 予算額	21,825 千円	新規 拡大 継続
--	--------------	-----------	---

1 事業目的（趣旨）

田鶴野排水機場の適正な運転管理と、施設の長寿命化を図るため、開閉ゲート等を修繕する。

また、蓼川用水路の安定した水の確保と施設の長寿命化を図るため、補修計画を策定する。

さらに、下鶴井地区の農地の地盤沈下や用排水路施設の劣化に伴い、ほ場整備に向けた設計業務を行う。

2 平成 28 年度事業内容

(1) 内 容

① 基幹水利施設ストックマネジメント事業（田鶴野地区）

事業費：32,000 千円

事業主体：兵庫県

負担金額：8,000 千円（市負担額 8,000 千円 25%、地元負担額 0）

工事概要：ローラーゲート開閉装置修繕等

② 基幹水利施設ストックマネジメント事業（蓼川地区）

事業費：13,000 千円

事業主体：兵庫県

負担金額：3,250 千円（市負担額 2,587 千円 17.5%、地元負担額 663 千円 7.5%）

※地元負担額一部控除あり

工事概要：用水路補修に係る実施設計業務（L=1,464m）

③ 基盤整備促進事業（農地整備事業）下鶴井地区

事業費：47,000 千円

事業主体：兵庫県

負担金額：10,575 千円（市負担額 4,700 千円 10%、地元負担額 5,875 千円 12.5%）

工事概要：ほ場整備事業に係る実施設計業務

（区画整理 A = 18.2ha、道路工 L = 1.3 km、水路工 L = 4.1 km）

3 28 年度予算

予算額 21,825 千円（負担金額）



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-2-1-2

No.58	事業名 一日市排水機場の改修	28年度 予算額	15,894 千円	新規 拡大 継続
-------	----------------	-------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

一日市排水機場は供用開始から15年が経過しており、平成25年に県で実施された機能診断において機械施設等の経年劣化が確認された。

適正な運転管理に向け、経年劣化が見られる機器類の更新、補修を行う。

2 平成28年度事業内容

(1) 内 容

土地改良施設維持管理適正化事業

工事費 15,000千円（国費30% 県費30% 土地改良事業団体連合会30% 市費10%）

負担金 894千円（補助対象事業費 14,900千円×30%/5年）

- ① 電動仕切弁φ150取替 1箇所
- ② 冷却ポンプ取替 2基
- ③ 主電動機1号の取替 1基
- ④ 除塵機レーキ部変形の補修 一式
- ⑤ 高圧受電盤内の部品交換 一式

(2) 事業期間

平成28年度～平成29年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

20,000千円

3 28年度予算

予算額 15,894千円



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 1-1-1-1

No.59	事業名 田結漁港防波堤整備	28 年度 予算額	98,000 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------	--------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

田結漁港は、円山川の河口域の津居山湾に位置していることから、台風時や冬季の波浪の際には、漁港内に多量の流木や稲ワラ等の漂着ごみと多量の砂が堆積し、毎年撤去に多額の費用を費やしている状況である。

これらの現状を解消するため、田結漁港の出入口に防波堤を延伸整備することにより、漂流ごみと漂砂の侵入を防ぎ、あわせて漁港の機能維持と漁業集落の環境保全に寄与することを目的とする。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

直接的な波浪(高波)の襲来を防ぐ既存防波堤の延伸整備

L=100m

(2) 事業期間

平成 28 年度～平成 30 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

約 340,000 千円（合併特例債）

3 28 年度予算

(1) 予算額

98,000 千円

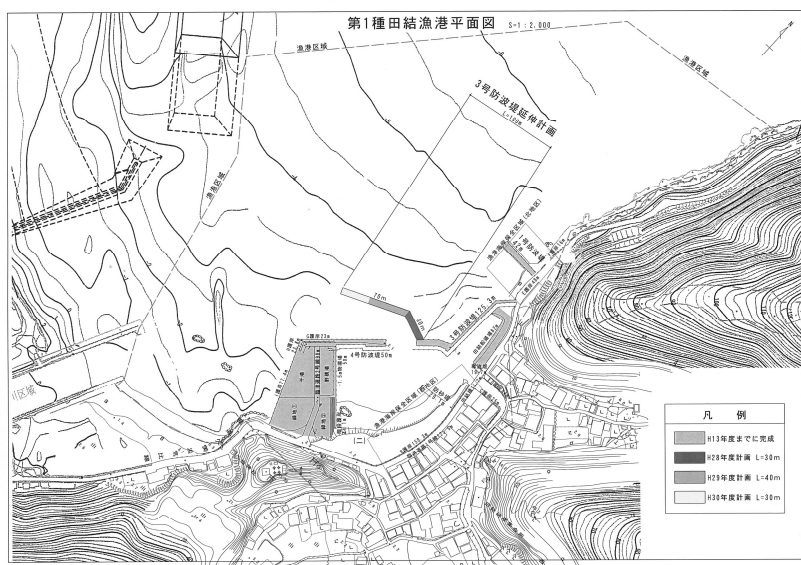
(2) 事業内容

防波堤 L=30m（既存防波堤より西へ延伸）

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

標準断面的な構造形式

方塊ブロック式消波被覆堤



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

施策体系番号 3-1-5-1

No.60	事業名	コウノトリ野生復帰推進事業	28年度 予算額	9,047 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	---------------	-------------	----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

コウノトリ野生復帰を通じた自然再生と地域再生の取組みを、地域に深く根づかせるとともに、豊岡以外での取組みと連携し普及啓発を図る。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

- ・野外コウノトリ対応
- ・普及啓発
- ・情報発信
- ・連携・交流 など

(2) 事業期間

平成 14 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

9,047 千円

(2) 事業内容

①野外コウノトリ対応（111 千円）

コウノトリの事故への対応

②普及啓発（2,593 千円）

ニュースレターの発行、普及啓発パンフの改訂・増刷、着ぐるみ新調、啓発用グッズ購入

③情報発信（3,516 千円）

ホームページの作成、維持管理

④連携・交流（751 千円）

関係機関、「コウノトリのまち」との連携など

⑤その他事務費等（2,076 千円）

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2341）

施策体系番号 2-1-1-1

No.61	事業名	コウノトリ生息地保全対策事業	28年度 予算額	9,240 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	----------------	-------------	----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

コウノトリの生息地保全を進めるとともに、市内の環境活動団体等が連携できる組織づくり、継続的な事業展開が可能な仕組みづくり、市民への普及啓発などの基盤整備に取り組む。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

コウノトリ生息地保全・創出事業

(2) 事業期間

平成 20 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

9,240 千円（単年度）

3 28 年度予算

(1) 予算額

9,240 千円（財源：コウノトリ基金）

(2) 事業内容

①市内湿地等管理（8,043 千円）

ハチゴロウの戸島湿地及び加陽湿地の維持管理・調査・見直し改良、市内ビオトープ水田設置・管理等

②生息地ネットワーク保全管理（1,197 千円）

戸島湿地を拠点に、他の湿地、ビオトープの管理指導等にかかる管理員の配置等

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2341）

施策体系番号 2-1-1-1

No.62	事業名	加陽湿地拠点整備事業	28 年度 予算額	148,326 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	------------	--------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

国土交通省の自然再生事業によって整備が進められている「加陽湿地」（市内加陽地区、約 15ha）周辺を、市の自然再生・地域活性の新たな拠点とすべく、拠点整備を行う。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

加陽湿地活用のための拠点整備

(2) 事業期間

平成 25 年度～平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

233,245 千円（地域再生戦略交付金：50/100、合併特例債：95/100 等を活用）

3 28 年度予算

(1) 予算額

148,326 千円

(2) 事業内容

①整備事業費（147,828 千円）

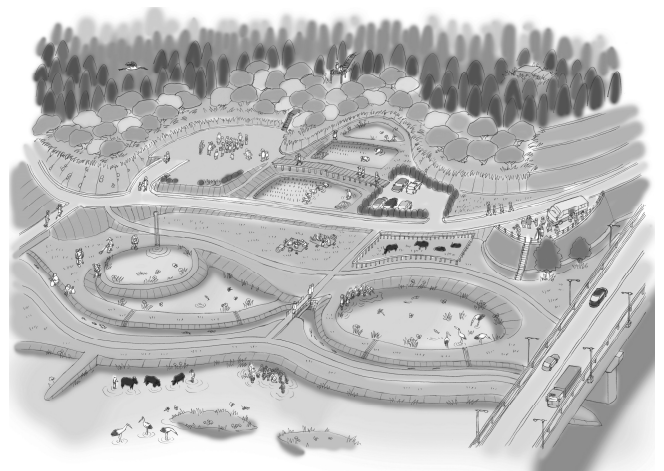
造成工事、建築工事、給排水工事

②ソフト事業（443 千円）

地域と協働した風景づくり、湿地を活用したエコツアーに向けたガイド養成等

③維持管理費（55 千円）

建物共済等



▲加陽湿地拠点イメージ図

担当課名【コウノトリ共生課】（内線 2341）

施策体系番号 2-1-1-1

No.63	事業名 地籍調査事業	28 年度 予算額	210,729 千円	新規 拡大 継続
-------	------------	--------------	------------	----------------

1 事業目的（趣旨）

精度の高い土地情報を調査把握して、その成果を有効に活用する。公共事業や災害復旧事業の効率的かつ円滑な実施に寄与する一方、適切な土地の管理や課税の公正公平化に資する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

一筆ごとの土地について、土地所有者等の関係人立会いのもと、その所有者・地番・地目等の調査を実施するとともに、土地境界の確認特定と地積測量を行い、これらに係る「地籍簿（案）」と「地籍図（案）」を作成。土地所有者等の関係人がこれを閲覧確認したのち、国県の認証を経て法務局へ送付する。登記完了した調査対象地区においては、申請に基づき一筆ごとの土地図形と筆界点座標値に関する証明書の発行が可能となる。

(2) 事業期間

平成 18 年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費（補助率・負担率等）

全体事業費 未定

負担率 県営事業 国 50%、県 50%
市営事業 国 50%、県 25%、市 25%

3 28 年度予算

(1) 予算額

210,729 千円

(2) 事業内容

【実 施 大 字】 継 続 : 戸牧、高屋、上陰、福田、栃江、岩井、宮井、新堂
森津、滝、岩熊、伊賀谷、竹野町川南谷、竹野町小城
日高町河江、日高町久斗、日高町山本、日高町国分寺
出石町福見、但東町西谷 (20 大字)
新 規 : 城崎町楽々浦 (1 大字)

【事 業 量】	図根三角測量、調査図素図作成	3.54 ㎢
	一筆地（現地立会）調査、詳細測量	6.29 ㎢
	地籍簿(案)・地籍図(案)作成、閲覧	3.46 ㎢

担当課名【地籍調査課】（内線 2381）

施策体系番号 3-2-1-3

No.64	事業名	日高地域流域現況調査業務	28 年度 予算額	8,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----	--------------	--------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

日高地域の中心市街地では、一級河川久斗川が未改修であることから、上流の道場排水区（夏栗川流域）及び久斗川排水区の雨水が、整備済みの中川雨水幹線を経由し中心市街地まで流れ込み浸水被害をもたらしている。

久斗川改修が困難なことから、久斗川排水区の上流の道場排水区における雨水貯留施設による下流側への流出抑制効果を検証し、雨水貯留施設の可能性を検討する。

2 全体の事業内容

(1) 内 容

道場排水区における流域の現況調査と雨水貯留施設による久斗川並びに中川雨水幹線への流出抑制効果の検証。

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市

3 28 年度予算

(1) 予算額

8,000 千円

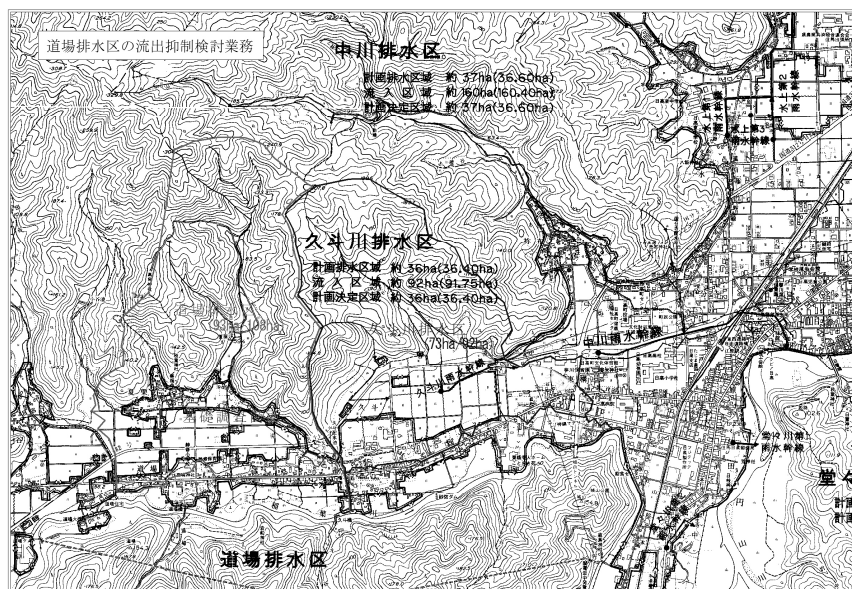
(2) 事業内容

流域現況調査・雨水流出解析業務 1.0 式

4 その他参考事項（事業内容の詳細等）

(1) 内水対策事業は通常、河川整備・排水ポンプ場整備等を必要とすることから、多額の事業費（投資）が必要となる。一方、本市で実施可能な内水対策（投資可能な事業費）は非常に限定的なものとなることから、被害の状況と社会的影響度、対策実施の可能性等を勘案し、豊岡市街地北部と日高市街地を選定し検討を進める。

(2) 豊岡市街地北部については、国土交通省による内水解析データ、県市共同による総合庁舎での雨水調節池の設置などの対策が検討されているのに対し、日高市街地部では関連のデータ及び計画もないことから、今回基礎調査を行う。なお、市街地北部についても既存の関連データ等を活用し、引き続き対策を検討する。



担当課名

【下水道課】(内線 3660)

施策体系番号 1-1-1-1